

同時資料配布先：

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2023年12月21日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

革新的 CO<sub>2</sub> 分離回収・有効利用技術シンポジウム  
～ 地球温暖化防止に貢献する CO<sub>2</sub> 分離回収・利用技術の最新動向 ～  
開催について

2024年2月7日に公益財団法人地球環境産業技術研究機構は、「革新的 CO<sub>2</sub> 分離回収・有効利用技術シンポジウム」開催いたします。テーマは CCS だけでなく CCU、カーボンリサイクルまで含めたシンポジウムで、今回は、CCUS・DAC について各領域の有識者が最新状況をご紹介します。

METI によるカーボンリサイクルに関する基調講演の後、先進的な DAC 技術の開発を進める Global Thermostat 社より戦略方針と日本における活動内容をご講演いただきます。続いて国内において先進的な CCS 事業を展開している日鉄エンジニアリング(株)より省エネ型 CO<sub>2</sub> 分離回収 (ESCAP) についてご紹介頂きます。

また RITE が NEDO 事業として取り組んでいる CO<sub>2</sub> 分離回収・有効利用技術の開発状況についても報告致します。

会場と web 配信のハイブリッド方式で開催致します。会場では 4 年ぶりにポスターセッションも行いますので、研究者と直接意見交換が可能です。

CCUS の社会実装、DAC、先進的 CCS などにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしています。

## 1. 開催趣旨

2023年3月に「CCS 長期ロードマップ」、6月に「カーボンリサイクルロードマップ」が制定され、7月には先進的 CCS 支援事業がスタートしました。このように、2023年はカーボンマネジメントの取組みが着実に前進した年となりました。また、2050年の将来を見据えた Direct Air Capture (DAC) において、海外では社会実装の計画が現れ、国内においても近年、開発が加速しております。

こうした状況の下、今年度は別開催していた「未来を拓く無機膜 環境・エネルギー技術シンポジウム」を統合し、CCS だけでなく CCU、カーボンリサイクルまで含めたシンポジウムへと拡大いたします。今回は、CCUS・DAC の状況を広く社会の皆様にご紹介いただくべく、カーボンマネジメント政策、先進的 CCS、DAC の各領域の有識者をお呼びし、各最前線の状況を講演いただきます。

また、RITE では、NEDO 委託事業において様々な国内メーカーと協力しながら、革新的 CO<sub>2</sub> 分離回収・有効利用技術の開発を進めており、最前線で研究開発を指揮する研究者から直近の開発状況を報告いたします。

今回 4 年ぶりに会場にポスターセッションを併設します。是非、会場へお越しいただき、積極的な情報収集、活発な意見交換をしていただければ幸いです。本シンポジウムが、社会の皆様の脱炭素への知識・意識の一層の深化、カーボンニュートラル技術開発のさらなる進化の一助となることを祈念いたします。

## 2. 開催概要

日時： 2024年2月7日(水) 13時～17時30分

会場： 東京大学 伊藤国際学術センター B2F 伊藤謝恩ホール

開催形式： ハイブリッド形式(会場での講演をオンライン配信)

定員： 会場(300名)、web(1000名)

参加料： 無料

主催： 地球環境産業技術研究機構

共催： 経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構、  
次世代型膜モジュール技術研究組合※

(※組合員：住友化学株式会社、公益財団法人地球環境産業技術研究機構)

後援： 日本 CCS 調査(株)、Global CCS Institute、(公社)新化学技術推進協会、  
(公社)2025年日本国際博覧会協会、(一財)エネルギー総合工学研究所(申請中)

(一社) 水素供給利用技術協会、(一財) 石油エネルギー技術センター、  
(一社) 日本ガス協会、燃料電池実用化推進協議会  
協賛： (一社) 日本膜学会、(公社) 化学工学会 (申請中)、(公社) 高分子学会 (申請中)、  
(公社) 日本化学会、(一財) ファインセラミックスセンター

### 3. プログラム

- 13:00 - 13:05 主催者挨拶 (公財) 地球環境産業技術研究機構 理事長 山地 憲治  
13:05 - 13:10 共催者挨拶 (国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
環境部 部長 福永 茂和  
13:10 - 13:50 基調講演 「カーボンリサイクルに関する講演」(仮題)  
経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房  
カーボンリサイクル室長 羽田 由美子  
13:50 - 14:30 招待講演① 「Global Thermostat の戦略方針と米国の CDR 状況について」(仮題)  
Global Thermostat CEO Paul Nahi  
「Global Thermostat Japan の日本における活動内容」(仮題)  
Global Thermostat Japan Managing Director 菊池 英俊  
14:30 - 15:10 招待講演② 「先進的 CCS 事業、省エネ型 CO<sub>2</sub> 分離回収技術 (ESCAP)」(仮題)  
日鉄エンジニアリング (株) 環境・エネルギーセクター  
シニアマネジャー 荻生 大介  
15:10 - 15:15 ポスター・展示の案内  
15:15 - 16:00 ポスター・展示 多目的ホール  
①CCUS 関連： 吸収液・分離膜・固体吸収材、DAC、  
メタノール合成、標準評価共通基盤、産業化戦略協議会  
②無機膜、水素製造、水素利用関連  
③グローバル CCS インスティテュート  
④産業化戦略協議会会員 (依頼中)  
16:00 - 17:25 活動報告① 「CO<sub>2</sub> 分離回収・有効利用技術開発の動向と RITE の取り組みについて」  
(公財) 地球環境産業技術研究機構  
化学研究グループ グループリーダー 余語 克則  
活動報告② 「固体吸収材を用いた CO<sub>2</sub> 分離回収技術の開発状況」  
同 化学研究グループ 主任研究員 木下 朋大  
活動報告③ 「膜分離技術を用いた CO<sub>2</sub> 分離回収・有効利用技術の開発状況」  
同 化学研究グループ 主任研究員 瀬下 雅博  
17:25 - 17:30 閉会挨拶 (公財) 地球環境産業技術研究機構 専務理事 本庄 孝志

### 4. 参加登録

参加を希望される方は、下記 RITE ウェブサイトよりお申し込み下さい。  
[https://www.rite.or.jp/news/events/2023/12/co2\\_202427.html](https://www.rite.or.jp/news/events/2023/12/co2_202427.html)

### 5. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前にお申し込み下さいますようお願い致します  
(やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい)。

お問合せ先

○シンポジウムの内容・参加登録に関するお問い合わせ先：

・公益財団法人地球環境産業技術研究機構 龍治、菰野  
TEL：0774-75-2305 E-mail：bunrisympo@rite.or.jp

○本プレス発表に関するお問い合わせ先：

・公益財団法人地球環境産業技術研究機構  
企画調査グループ 広報・産業連携チーム  
TEL：0774-75-2301 E-mail：pub\_rite@rite.or.jp

「革新的 CO<sub>2</sub>分離回収・有効利用技術シンポジウム」  
～地球温暖化防止に貢献する CO<sub>2</sub>分離回収・利用技術の最新動向～  
開催概要

- 日 時： 2024年2月7日(水) 13時～17時30分  
会 場： 東京大学 伊藤国際学術センター B2F 伊藤謝恩ホール  
開催形式： ハイブリッド形式(会場での講演およびオンライン聴講)  
定 員： 会場(300名)、web(1000名)  
参加料： 無料  
主 催： (公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)  
共 催： 経済産業省、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、  
次世代型膜モジュール技術研究組合\*  
(\*地球環境産業技術研究機構と住友化学株式会社の2組合員で構成)  
後 援： 日本 CCS 調査(株)、Global CCS Institute、(公社)新化学技術推進協会、  
(公社)2025年日本国際博覧会協会、(一財)エネルギー総合工学研究所(申請中)、  
(一社)水素供給利用技術協会、(一財)石油エネルギー技術センター、  
(一社)日本ガス協会、燃料電池実用化推進協議会  
協 賛： (一社)日本膜学会、(公社)化学工学会(申請中)、(公社)高分子学会(申請中)、  
(公社)日本化学会、(一財)ファインセラミックスセンター

### 開催趣旨

2023年3月に「CCS長期ロードマップ」、6月に「カーボンリサイクルロードマップ」が制定され、7月には先進的CCS支援事業がスタートしました。このように、2023年はカーボンマネジメントの取組みが着実に前進した年となりました。また、2050年の将来を見据えたDirect Air Capture(DAC)において、海外では社会実装の計画が現れ、国内においても近年、開発が加速しております。

こうした状況の下、今年度は別開催していた「未来を拓く無機膜 環境・エネルギー技術シンポジウム」を統合し、CCSだけでなくCCU、カーボンリサイクルまで含めたシンポジウムへと拡大いたします。今回は、CCUS・DACの状況を広く社会の皆様にご覧いただき、カーボンマネジメント政策、先進的CCS、DACの各領域の有識者をお呼びし、各最前線の状況を講演いただきます。

また、RITEでは、NEDO委託事業において様々な国内メーカーと協力しながら、革新的CO<sub>2</sub>分離回収・有効利用技術の開発を進めており、最前線で研究開発を指揮する研究者から直近の開発状況を報告いたします。

今回4年ぶりに会場にポスターセッションを併設します。是非、会場へお越しいただき、積極的な情報収集、活発な意見交換をしていただければ幸いです。本シンポジウムが、社会の皆様の脱炭素への知識・意識の一層の深化、カーボンニュートラル技術開発のさらなる進化の一助となることを祈念いたします。

プログラム

- 13:00 開 会
- 13:00 - 13:05 主催者挨拶 (公財) 地球環境産業技術研究機構 理事長 山地 憲治
- 13:05 - 13:10 共催者挨拶 (国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
環境部 部長 福永 茂和
- 13:10 - 13:50 基調講演 「カーボンリサイクルに関する講演」(仮題)  
経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房  
カーボンリサイクル室長 羽田 由美子
- 13:50 - 14:30 招待講演① 「Global Thermostat の戦略方針と米国の CDR 状況について」(仮題)  
Global Thermostat CEO Paul Nahi  
「Global Thermostat Japan の日本における活動内容」(仮題)  
Global Thermostat Japan Managing Director 菊池 英俊
- 14:30 - 15:10 招待講演② 「先進的 CCS 事業、省エネ型 CO<sub>2</sub>分離回収技術 (ESCAP)」(仮題)  
日鉄エンジニアリング (株) 環境・エネルギーセクター  
シニアマネジャー 荻生 大介
- 15:10 - 15:15 ポスター・展示の案内
- 15:15 - 16:00 ポスター・展示 多目的ホール
- ①CCUS 関連： 吸収液・分離膜・固体吸収材、DAC、  
メタノール合成、標準評価共通基盤、産業化戦略協議会
  - ②無機膜、水素製造、水素利用関連
  - ③グローバル CCS インステイテュート
  - ④産業化戦略協議会会員 (依頼中)
- 16:00 - 17:25 活動報告
- 「CO<sub>2</sub>分離回収・有効利用技術開発の動向と RITE の取り組みについて」  
(公財) 地球環境産業技術研究機構  
化学研究グループ グループリーダー 余語 克則
- 「固体吸収材を用いた CO<sub>2</sub>分離回収技術の開発状況」  
同 化学研究グループ 主任研究員 木下 朋大
- 「膜分離技術を用いた CO<sub>2</sub>分離回収・有効利用技術の開発状況」  
同 化学研究グループ 主任研究員 瀬下 雅博
- 17:25 - 17:30 閉会挨拶 (公財) 地球環境産業技術研究機構 専務理事 本庄 孝志
- 17:30 閉 会

以上